

令和5年度 浜松市立引佐幼稚園 園評価報告書

1 園評価の概要

(1) 自己評価

保護者・教職員を対象として、園児・教職員の状況をマークシート方式でアンケート調査した。また、保護者から園に対する要望・感想を記述方式で同様に調査した。

(2) 園関係者評価

園評価委員（7名）に対して、自己評価の結果を配布し、感想・要望をアンケート調査した。

2 自己評価の方法と内容

(1) 保護者と教職員を対象として、園児・教職員の状況を「さくら連絡網」でアンケート調査した。

(2) 教育目標「井の国で 自信をもって たくましく遊ぶ子」を実現するための取組を、「健康な心と体」「言葉による伝え合い」「協同性」「職員資質向上」の4つの重点目標を20の質問内容で評価した。

<重点目標①「健康な心と体」>

- ①（早寝早起き）子供たちは、早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちの習慣が身につけてきているか。
- ②（自信）子供たちは、気持ちが安定し、自信をもって行動しているか。
- ③（片付け）子供たちは、物を大切にしているか。
- ④（外遊び）子供たちは外に出て、身体を動かして遊ぶことが好きになってきているか。
- ⑤（喜んで登園）子供たちは、幼稚園に喜んで登園しているか。
- ⑥（挨拶返事）子供たちは、挨拶や返事がしっかりできているか。
- ⑦（自分の言葉）子供たちは、自分の思いを自分なりの言葉で伝えようとしているか。
- ⑧（聞く力）子供たちは、人の話を興味をもって聞いているか。

<重点目標②「言葉による伝え合い」>

- ⑨（友達楽しみ）子供たちは、友達と遊ぶことを楽しみにしているか。

<重点目標③「協同性」>

- ⑩（じっくり遊ぶ）子供たちは、意欲的にじっくり遊ぶようになってきているか。
- ⑪（ルール約束）子供たちは、生活のルールや約束を守るようになってきているか。
- ⑫（絵本楽しみ）子供たちは、絵本を読んでもらうことを楽しみにしているか。

<重点目標④「職員資質向上」>

- ⑬（環境設定）幼稚園は、子供の興味・関心に基づき、楽しい遊びの環境づくりに努めているか。
- ⑭（子供大切）幼稚園は、一人一人の子供を大切にした指導をしているか。
- ⑮（多様体験）幼稚園は、多様な体験ができるような活動をしているか。
- ⑯（危機管理）幼稚園は、感染症への対応や対策を含め、危機管理体制は十分であるか。
- ⑰（相談体制）幼稚園は、保護者にとって相談しやすく、親身になって対応してくれるか。
- ⑱（情報発信）幼稚園は、便り・ブログ・降園時の話等で、子供の様子を分かりやすく伝えているか。

⑱(家庭連携) 幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しているか。

⑳(幼小連携) 幼稚園は、小学校へのつなぎを意識した保育をしているか。

(3) 自己評価の結果

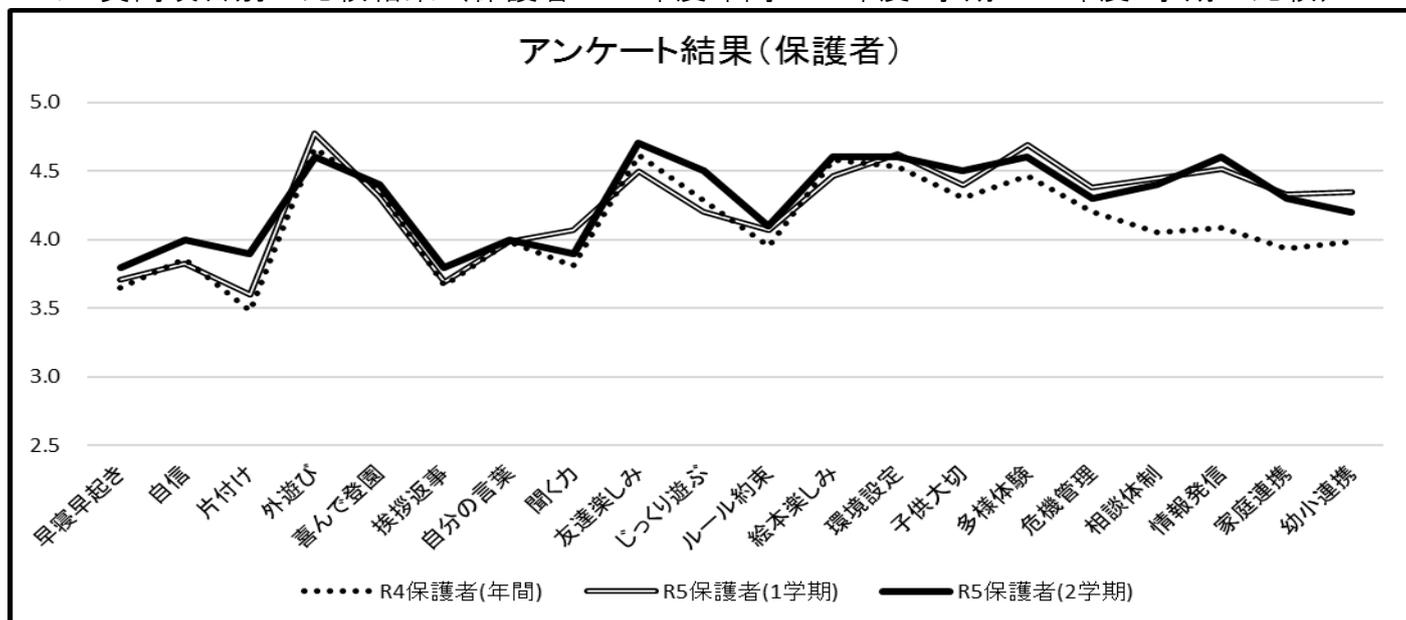
ア 実施日及び方法

令和5年12月5日～20日(保護者・教職員)に「さくら連絡網」のアンケート機能で調査を実施した。各項目は5点満点とし、保護者・教職員で平均値を集計し、R4年度年間・R5年1学期・R5年度2学期を比較した。

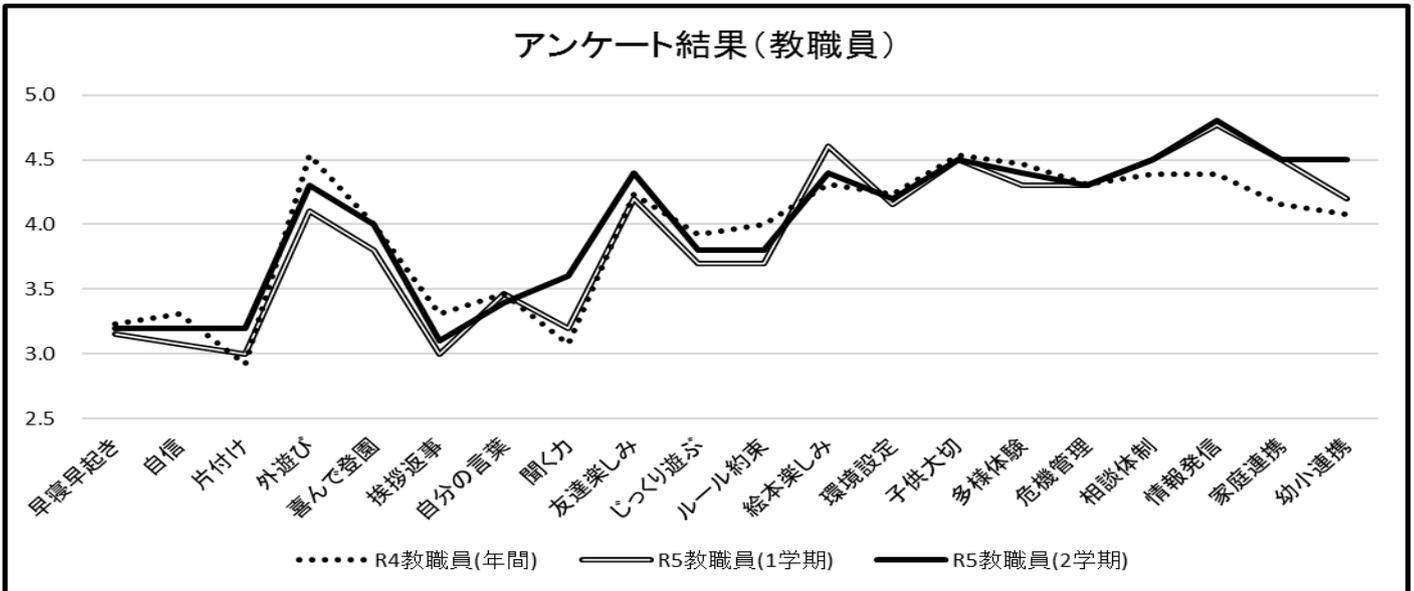
イ 集計結果

重点目標	健康な心と体(育ってほしい10の姿)								言葉による伝え合い(育ってほしい10の姿)	協同性(育ってほしい10の姿)		指導と援助(職員の姿)	幼児理解(職員の姿)	指導と援助(職員の姿)	危機管理(職員の姿)	相談体制(職員の姿)	情報発信と説明責任(職員の姿)	幼小連携(職員の姿)		
	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10								11	
質問項目	子供たちは、早寝・早起き・朝ごうんちの習慣が身についている。	子供たちは、気持ちが安定している。	子供たちは、物を大切にしている。	子供たちは、外に出て、身体を動かして遊ぶことが好きになっている。	子供たちは、幼稚園に喜んで登園している。	子供たちは、挨拶や返事ができている。	子供たちは、自分の思いを自分なりの言葉で伝えようとしている。	子供たちは、人の話を興味をもって聞いている。	子供たちは、友達と遊ぶことを楽しんでいる。	子供たちは、意欲的にじっくり遊ぶようになってきている。	子供たちは、生活のルールや約束を守りながら遊んでいる。	子供たちは、絵本を読んだり、歌を歌ったりして楽しんでいる。	幼稚園は、子供の興味・関心に基づき、楽しい遊びの環境づくりに努めている。	幼稚園は、一人一人の子供を大切に指導している。	幼稚園は、多様な体験ができるような活動をしている。	幼稚園は、感染症への対応や対策を含め、危機管理体制は十分である。	幼稚園は、保護者にとって相談しやすく、親身になって対応してくれる。	幼稚園は、便り・ブログ・降園時の話等で、子供の様子を分かりやすく伝えるしている。	幼稚園は、家庭や地域と連携・協力している。	幼稚園は、小学校へのつなぎを意識した保育をしている。
キーワード	早寝早起き	自信	片付け	外遊び	喜んで登園	挨拶返事	自分の言葉	聞く力	友達楽しみ	じっくり遊ぶ	ルール約束	絵本楽しみ	環境設定	子供大切	多様な体験	危機管理	相談体制	情報発信	家庭連携	幼小連携
R4保護者(年間)	3.7	3.9	3.5	4.7	4.4	3.7	4.0	3.8	4.6	4.3	4.0	4.6	4.5	4.3	4.5	4.2	4.1	4.1	3.9	4.0
R5保護者(1学期)	3.7	3.8	3.6	4.8	4.3	3.7	4.0	4.1	4.5	4.2	4.1	4.5	4.6	4.4	4.7	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3
R5保護者(2学期)	3.8	4.0	3.9	4.6	4.4	3.8	4.0	3.9	4.7	4.5	4.1	4.6	4.6	4.5	4.6	4.3	4.4	4.6	4.3	4.2
キーワード	早寝早起き	自信	片付け	外遊び	喜んで登園	挨拶返事	自分の言葉	聞く力	友達楽しみ	じっくり遊ぶ	ルール約束	絵本楽しみ	環境設定	子供大切	多様な体験	危機管理	相談体制	情報発信	家庭連携	幼小連携
R4教職員(年間)	3.2	3.3	2.9	4.5	4.0	3.3	3.5	3.1	4.2	3.9	4.0	4.3	4.2	4.5	4.5	4.3	4.4	4.4	4.2	4.1
R5教職員(1学期)	3.2	3.1	3.0	4.1	3.8	3.0	3.5	3.2	4.2	3.7	3.7	4.6	4.2	4.5	4.3	4.3	4.5	4.8	4.5	4.2
R5教職員(2学期)	3.2	3.2	3.2	4.3	4.0	3.1	3.4	3.6	4.4	3.8	3.8	4.4	4.2	4.5	4.4	4.3	4.5	4.8	4.5	4.5

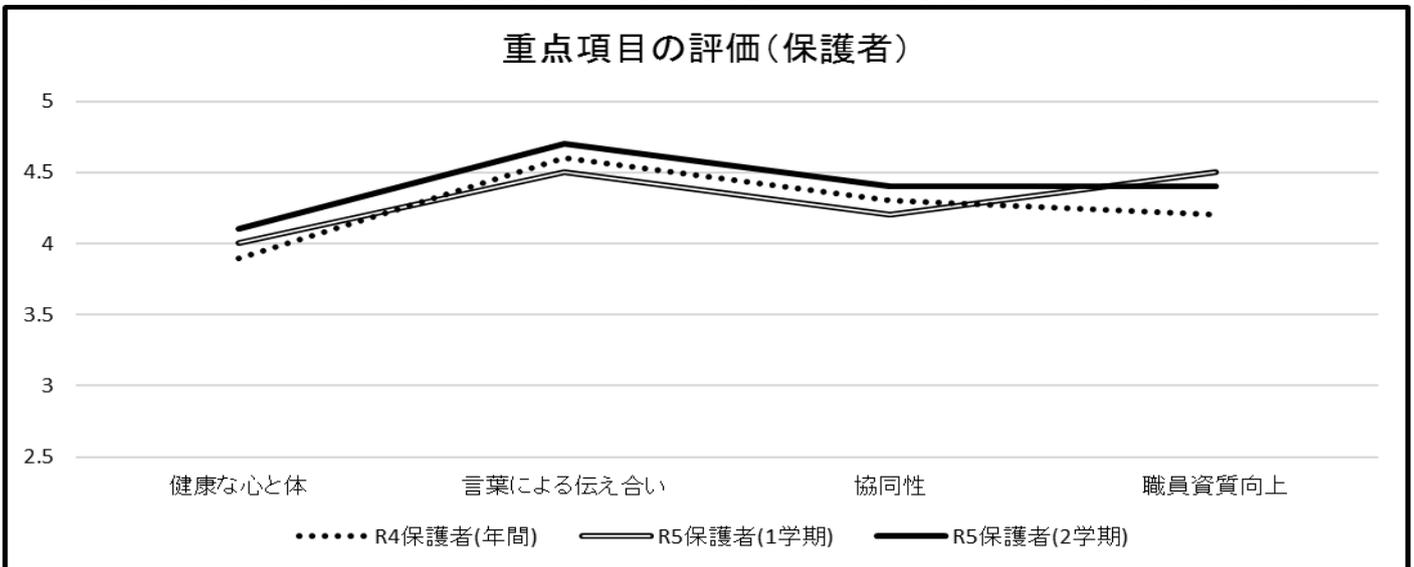
ウ 質問項目別の比較結果(保護者: R4年度年間・R5年度1学期・R5年度2学期の比較)



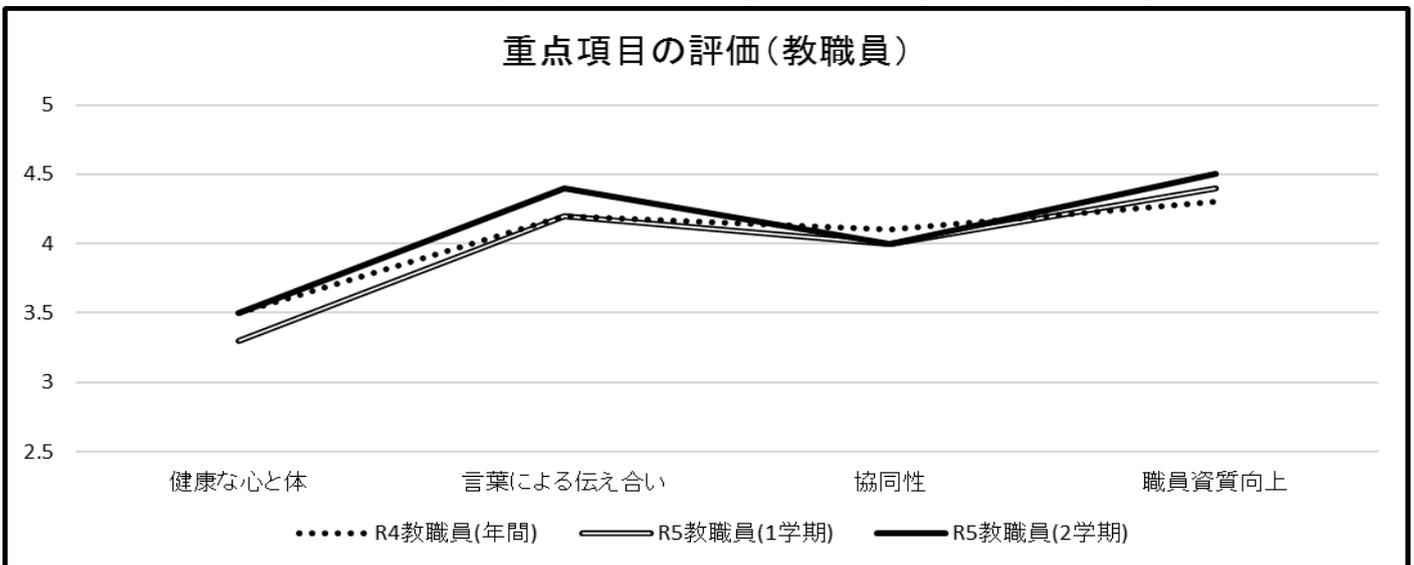
エ 質問項目別の比較結果（教職員：R4年度年間・R5年度1学期・R5年度2学期の比較）



オ 重点項目別の比較結果（保護者：R4年度年間・R5年度1学期・R5年度2学期の比較）



カ 重点項目別の比較結果（教職員：R4年度年間・R5年度1学期・R5年度2学期の比較）



キ 自由記述（感想・要望）の結果と回答

No	項目	園経営に対する感想・要望(保護者)	園からの回答
1	感想	預かり保育を利用しています。親と離れる時間が多い中、預かり保育の先生方、また、ヘルプなどで入ってくださる先生方のおかげで、降園後の生活も楽しいと話してくれ、充実しているように思います。預かり保育に行くことを、中には可哀想と思う方もいるかもしれませんが。しかし私の家では、気持ちよく利用させてもらっています。預かりの担任の先生はじめ、他の先生方も関わっていただき、本当にありがとうございます。	保護者の子育てを支援することも、本園の重要な役割なので、今後も、預かり保育の充実に努めていきます。
2	感想	二学期も毎日楽しく登園することができました。自分でお支度することもできるようになり、部屋まで付いていなくても自分で部屋に行けるようになり、日々成長を感じております。学芸会も年少さんみんな立派に舞台上に立ち、とても感動しました。先生たちのご指導、いつもありがとうございます。	日々の園生活を通して確実に成長している姿を保護者と共に喜べるように、保育の充実に努めて参ります。
3	感想	先日の学芸会では歌や楽器、ダンスや劇まで頑張っている子供達に成長を感じました。とても楽しく、微笑ましい場面が沢山あった学芸会でした。ご指導下さった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も宜しくお願いします。	今後も、子どもたちの成長を参観者と共に喜べる学芸会となるように努めていきます。
4	感想	いつも楽しく過ごせるように環境を整えて頂いてありがとうございます。おかげでのびのびとすごせてもらっています。小学校へのつながりを思うと、まだ1年ありますがだいぶ心配です。落ち着いた行動ができるか、話を聞いて自分で理解できるか、少しずつ成長が見られるとうれしいです。	小学校とのスムーズな接続をめざして、本年度は、「聴くことの大切さ」を繰り返し伝えていきます。身に付くには時間が掛りますが、根気よく指導していきます。
5	感想	二学期も、先生たちのおかげで毎日楽しく登園できました。年長になると、遊び以外のやる事がたくさんある中、小学校に向けて少しずついろいろなことができてきているなと感じます。学芸会での、合奏合唱は特に成長を感じました。先生たちの日々のご指導ありがとうございます。	安心して小学校に入学できるように、「幼稚園でやっていることをしっかりできれば、小学校に入っても大丈夫だよ」と繰り返し声を掛けていきます。
6	要望	英語も取り入れてほしい。	幼稚園では、義務教育の入り口として、正しい日本語に触れることを大切にしています。まずは、母国語である日本語による保育の充実に努めていきます。
7	要望	・南駐車場の車止めるラインがわかりにくいので(雨の日や曇りの日)、分かりやすくした方がいいと思います。 ・南駐車場の枠線が見えにくく、どうにか改善できないかなあとと思います。知識がないので提案もできず、簡単なことではないと承知しているのですが、不安要素です。今後改善されることを願っています。	南駐車場は、本園のみが使用しているのではなく、放課後児童クラブでも使用しているため、管理責任者である浜松市幼児教育・保育課に要望していますが、実現していません。今後も重ねて改修を要望していきます。
8	要望	園からはブログやお便り等で教育活動の様子を伝えてもらっていますが、例えばこの時期はこの遊びや活動が有効などのプチ情報を教えていただけたらありがたいです。家でできることならチャレンジをして、連携して育てていけたらと思います。	本市では「はますくファイル」を通して、子育てに関する様々な情報を提供しています。その情報をブログや便りでも提供していきたいと思っています。
9	要望	学芸会の場所取りを朝早くしなくてもいい様に学年で場所を入れ替えたり、抽選にしたりしたいのになと思いました。	以前は場所を指定したり、抽選をしていたりしていましたが、混乱をしたので、現在の形式にさせてもらいました。今後、園児数が減っていく傾向にあるので、早くから場所取りをする必要もなくなるといいますので、現在の方法を継続していきたいです。
10	要望	コロナやインフルエンザがクラス内で流行っているのにプールに入っていたり、行事に参加したりと感染拡大が心配な面がありました。	コロナ禍を受け、感染症によって教育活動を止めないことを大切にしていますが、学年閉鎖をせざる終えない状況が繰り返し起こっており、園としても対応に苦慮しています。まずは、毎日の「健康チェック」の重要性を繰り返し伝えていきます。

(4) 自己評価の考察と今後の課題

- ア R5年度2学期の評価得点の平均は、保護者は4.3、教職員は4.0であり、保護者も教職員ともR5年度1学期より0.1高くなっている。評価の傾向は、R5年度1学期同様に「外遊び」「友達づくり」に対して高く評価している反面、「片付ける力」「挨拶や返事をする力」が低い評価となっていた。
- イ 4つの重点項目に関しては、R5年度はR4年度と比較して、多くの項目で高い評価となっていた。特に、保護者・教職員ともに重点項目「職員の資質向上」の中では、「相談体制」「情報発信」「家庭連携」「幼少連携」に対する評価が高くなっていた。
- ウ 記述された感想・要望に関しては、教職員及び浜松市幼児教育・保育課と情報を共有し、園としてできることを務めていきたい。
- エ 来年度は、引き続き「聞くことの大切さ」を繰り返し指導していきたい。また、安心安全な園を確立するために、熱中症対策として、9月に実施していた運動会を5月に「親子スポーツフェスタ」として実施していきたい。合わせて、感染症による学年閉鎖にならないように、園内の感染症対策を徹底すると共に、「健康チェック」の重要性を繰り返し保護者の共有していきたい。

3 園関係者評価の概要

(1) 内容

園評価委員（7名）に対して、自己評価の結果を配布し、感想・要望をアンケート方式で調査した。

(2) 結果（回収率100%）

ア＜質問1＞

R5年度2学期の評価得点の平均は、保護者は4.3、教職員は4.0であり、保護者も教職員ともR5年度1学期より0.1高くなっていました。評価の傾向は、R5年度1学期同様に「外遊び」「友達づくり」に対して高く評価している反面、「片付ける力」「挨拶や返事をする力」が低い評価となっていました。この傾向は、R4年度も同じでした。この結果について、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。

- ・挨拶や返事は社会にでた時にとっても大切なことです。これからも幼稚園で挨拶をしっかりとやっていただきたいです。よろしくお願いします。
- ・1学期より評価が上がっているのは、園の皆さんが毎日積み重ねてきた日々の成果が外遊びや友達づくりに表れていると思います。毎年課題になるのが、片付ける力、挨拶や返事をする力が低い評価が気になりますが、子供たちに対して親が家族同士で挨拶しているのか、子供に片付ける姿を見せているか、片付け方法を教えているのか、その結果として表れていると思います。それぞれの家族の考え方の違いがこの結果に出ていると思います。幼稚園でも挨拶や片付けを見守っているかなど、これも小さなことをコツコツ積み重ねてきた結果だと思えます。うまく言えませんが難しい課題であると考えます。大人の姿を子供たちは日々よく観察していると思います。気が抜けませんが頑張っで欲しい課題です。
- ・園以外での大人達やご近所の方達との触れ合いが少なくなったので（コロナ禍により仕方ないと思う）挨拶や返事をする力が下がっても致し方ないと思う。
- ・全体的に高得点となっており、素晴らしいと感じました。分析については高く評価されている「外遊び」について高評価ではありますが、経過をみると下がってきているので注意が必要と感じました。その反面、低評価でも上がり調子のものであるので努力が数値化されていると感じました。全体的に評価が上がり調子なのでよい傾向と感じました。
- ・幼稚園に行けば友達や先生と一緒に外で遊んだりすることはすごく楽しいと思います。ただ、片付けや挨拶、返事といったことは、やらなければいけないという義務的なものを感じてしまっているのではと思います。片付けも挨拶、へんきもやれば気持ちいいものだともっと子供たちに伝えることが大切かなと思います。
- ・子供たちが興味関心があるところをどんどん伸ばしていけているのだと思います。片付けや挨拶は、「やらされる」印象の強いものです。子供たちが自発的にできるよう家庭でもサポートしていくことが大切だと思います。
- ・片付ける力についてはとても課題と感じています。挨拶や返事をする力の2つを伸ばすには、園だけでなく家庭でも同じように力を入れて指導（習慣化）していかなければなかなか身に付かないと思います。挨拶に関して少し年齢が進んでからの話かもしれませんが、「挨拶をしたのに返してくれないと挨拶をした人が悲しい思いになる」というのを理解できると、自分から挨拶するのはハードルが高くても、挨拶を返せるようになるんだと小1の息子から教えてもらいました。

イ＜質問2＞

4つの重点項目に関しては、R5年度はR4年度と比較して、多くの項目で高い評価となっていました。特に、保護者・教職員ともに重点項目「職員の資質向上」の中で、「相談体制」「情報発信」「家庭連携」「幼少連携」に対する評価が高かったです。これは、本園の「強み」として、次年度以降も更に伸ばしていきたいです。このことについて、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。

- ・全体的に令和4年度よりも高点数になっており素晴らしいと感じました。重点項目の中でR4と比べてR5で評価を伸ばしているものについては、私の記憶ではR4年度末にR5は特に力を入れたいと言っていた部分だったと思いますので、有言実行で素晴らしいと感じました。「強み」があるということは自信にも繋がり、更なる飛躍へと繋がると思います。
- ・先生方がすごく頑張ってくださっているのがこの評価でよくわかります。いつもありがとうございます。
- ・これに関しては、ひとえに職員御方たちの努力と人柄による部分だと思います。園の強みというより先生方のたゆまぬ努力の結果だと思う。

・幼児教育は大変な仕事と痛感しました。自治会でも応援していきます。

・職員の資質向上の評価が高いのは、教職員の皆さんと保護者の方々との情報交換がスムーズに行われている証だと思います。保護者と園職員の双方が子供たちのことで相談を持ち掛けたり、悩みを打ち明けたりし合うことや積極的に情報を発信し合うことでお互いの信頼関係が生まれ、職員御資質向上につながるのではないのでしょうか。ただ、張り切り過ぎて体調を崩したり、いろいろと考えすぎて悩みすぎたりしないように注意しましょう。職員同士の意思疎通も大事で何事も力を抜いて臨んでいただきたいと思います。幼小連携はとても大切な課題です。学校と幼稚園の連携がうまくいくことで子供たちが小学生になったとき、素晴らしい成果として現れると思います。幼稚園は小学校の近くにあるので、お互いの交流機会が増えて連携を深めることができれば素晴らしいと思います。

・相談体制について、適切なタイミングで担任から子の様子を教えていただけていると感じます。面談時にも、園と家庭だけでなく、療育園とも連携して子の成長を見守りサポートしていく体制が整っていると感じました。兄弟児と合わせて4年間引佐幼稚園にお世話になっていますが、発達に心配のある子と親をしっかりとサポートしてくれる園だと思います。

ウ<質問3>

来年度は、引き続き「聞くことの大切さ」を繰り返し指導していきたいです。また、安心・安全な園を確立するために、熱中症対策として、9月に実施していた運動会を、5月に「親子スポーツフェスタ」として実施していきたいです。合わせて、感染症による学年閉鎖にならないように、園内の感染症対策を継続すると共に、「健康チェック」の重要性を繰り返し伝えていきたいです。このことについて、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。

・何十年ぶりに運動会を拝見しました。一生懸命さに感動しました。

・まだまだ発展途上にある子供たちと相手にご苦労もあると思いますが、子供たちが興味をもって人の話を聞けるよう聞く力を育ててください。昨年は尋常でない暑さの中での運動会でしたのでご苦労があったと感じています。9月から5月へ開催時期の変更は賛成です。季節的にもよい時期だと思います。4月からの新学期開始から短期間なのであまり背伸びをせずに力を抜いて実施してほしいと思います。子供たちの元気な姿がみられることを楽しみにしています。感染症対策は、子供たちや教職員、保護者の全ての皆さんの健康と守り幸せな生活に繋がるとても大事な事柄です。毎日の生活の中で繰り返し、その重要性を伝えていただきたいと思います。

・感染症に関しては兄弟や家族からうつってしまうので、そこまでシビアにならなくてもいいと思います。スポーツフェスタに関しては理事会でお話しさせていただいた通りです。

・安心安全な園の確立は言葉では簡単ですが、実行はとても大変だと思います。感染対策や事故防止を含め「安全」を管理できることが「安心」にも繋がりますが、安全を重視過ぎることは子供の成長や保育の負担になりかねません。園側（先生方）にとっても、子どもたち側にとっても、保護者側にとっても、負担にならないよう頑張ってもらえたらと思います。絶対的な安全は担保しつつ、子供たちはもちろんのこと、先生や保護者を含めて楽しく伸び伸びと成長してもらえたらと思います。点数評価となっているアンケート調査なので、せっかくであれば今回の分析のような平均値を用いたもの以外に中央値も出して、その相互関係を分析してみても面白いかと思いました。

・聞くことの大切さは小学校、中学校に行ってもすごく大事なことなので、いろいろな場面で指導してほしいと思います。まだまだコロナ、インフルが流行っているので、健康チェック、手洗い、うがいは続けてほしいです。

・聞くことの大切さは小学校に上がる前に身に付けることができれば卒園後スムーズに次のステップに進むことができると強く感じています。行事に関しては賛成です。変化がめまぐるしい時代です。スピード感も求められ、公立では難しいところもあると思いますが、是非様々なことを前向きに進めていただきたいと思います。

・運動会については2学期は行事が多く、熱中症の心配もあるので、5月開催は良いと思いますが、名称は「運動会」の方がシンプルで分かりやすいです。「聞くことの大切さ」については、幼小のステップアップに置いて最も重要なテーマだと思います。引き続き、重点的にご指導をよろしくお願いします。何年か前に保護者向けのセミナーで「子どものとも社」の講演がとても良かったです。園で絵本に力を入れていると思いますが、現年少以降の学年の保護者に向けて開催してもよいのではと思います。

(3) 関係者評価の考察と今後の課題

- ア 自己評価結果に対して、全ての関係者から肯定的なコメントをいただいた。また、「片付ける力」「挨拶や返事をする力」に関しては、社会の変化の中で、園だけの取組では改善は難しく、家庭・地域との連携を図りながら、長い目で継続して小さな実践を重ねる必要性が指摘された。
- イ 教職員が一丸となって園目標の実現に取り組む姿を多くの関係者が高く評価していただいた。その反面、教職員の体調不良をために、年度途中で2クラスの担任を交代する異常事態を招いたことは、「集団での学び」が推進できる教師の育成に課題があることが明確になった。
- ウ 年中症対策と子ども主体の行事づくりのために、運動会の開催日時・内容を変更することに対して、肯定的な評価と共に危惧する声も聞かれた。今後は、5月の「親子スポーツフェスタ」を契機として、子供たちが「自分たちで運動会をしたい」という思いが膨らむ保育を行い、参観会等を通して、子供たちが主体的につくる運動会を披露していきたい。

4 来年度の園経営方針

(1) キャッチフレーズ 「新生・引佐幼稚園」

前年踏襲の「当たり前」をさらに打破し、「集団での学び」を推進できる教職員の育成をめざすとともに、子ども主体の行事をつくることを通して、拠点園としての「新生・引佐幼稚園」を構築していく。

(2) 具体的な方策

ア 教育課程の改善

園行事の精選と開催時期の見直し、子ども主体の行事作りを推進する。合わせて、「集団での学び」を推進できる教師を育成する。

イ 「引佐幼稚園応援団」との連携

「引佐幼稚園応援団」活動を通して、子育てを「公助」「共助」「自助」によって行う考え方を培い、ボトムアップのコミュニティづくりを推進する。

ウ キャリア教育の推進

「聞く力」の育成に重点化した「架け橋プログラム」を井伊谷小学校と連携して実践していく。

